

第2次諫早市総合計画策定のための  
まちづくりアンケート調査結果報告書

東京諫早会会員

平成26年12月

諫 早 市

## 目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	2
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて	2
3	回答者の属性	3
	(1) 性別	3
	(2) 年齢	3
	(3) 職業	3
	(4) 住んでいた地域	4
	(5) 諫早市を離れてからの年数	4
	(6) 家族構成	4
II	調査結果	5
1	諫早市に関する情報や現状などについて	5
	(1) 諫早市に帰る頻度	5
	(2) 諫早市に関する情報の入手方法	6
	(3) 今後ほしい情報	7
	(4) 「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているか	8
	(5) 「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるもの	9
2	諫早市に関する将来の方向性について	11
	(1) 将来、諫早市に帰って住みたいと思うか	11
	(2) 若年者増加のために重要な施策	12
	(3) 諫早市の望ましい将来像	17
	(4) 九州新幹線西九州（長崎）ルートが完成した後のまちづくりに期待すること	19
	(5) 市外からみた課題	20

# I 調査の概要及び回答者の属性

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、第2次諫早市総合計画の策定に当たって、東京諫早会会員の諫早市のまちづくりに対する意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施しました。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	東京諫早会会員
配布数	114
調査方法	東京諫早会総会において配布・回収
調査時期	平成26年10月

### (3) 配布数及び回収結果

配布数	114
有効回収数	74
有効回収率	64.9%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

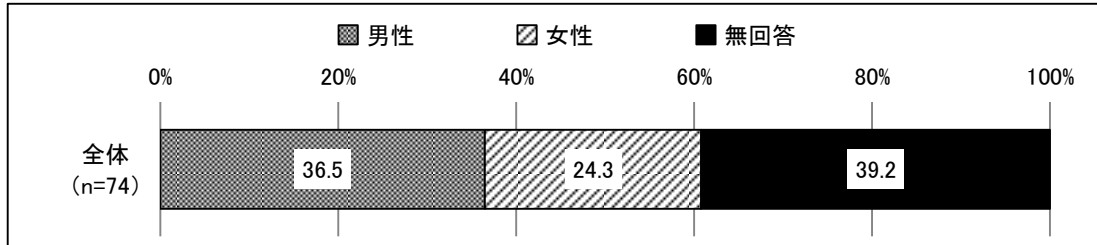
### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化している場合があります。

### 3 回答者の属性

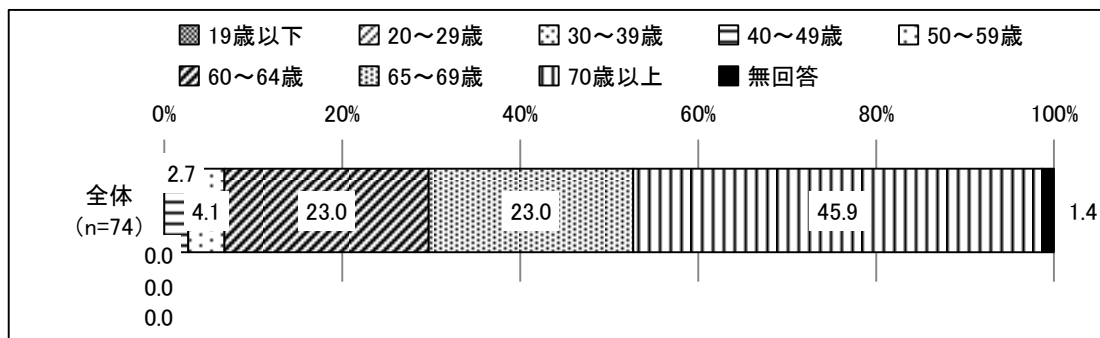
#### (1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が36.5%、「女性」が24.3%となっています。



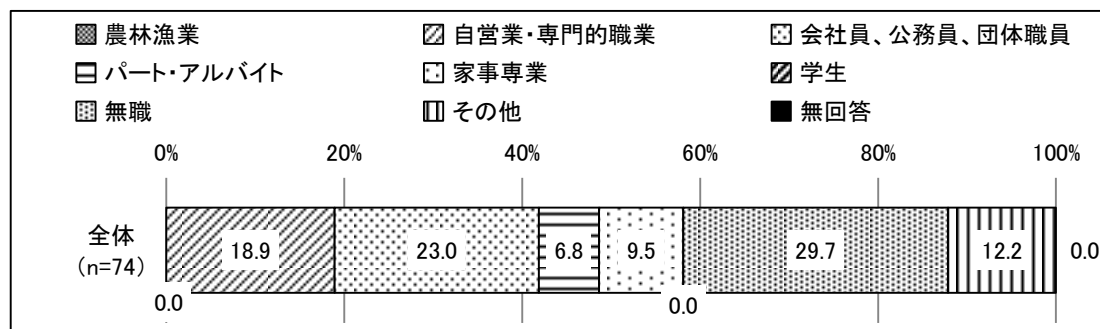
#### (2) 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」が45.9%で最も多く、次いで「60～64歳」「65～69歳」（同率23.0%）、「50～59歳」（4.1%）、「40～49歳」（2.7%）の順となっています。また、「19歳以下」「20～29歳」「30～39歳」と回答した人はいませんでした。



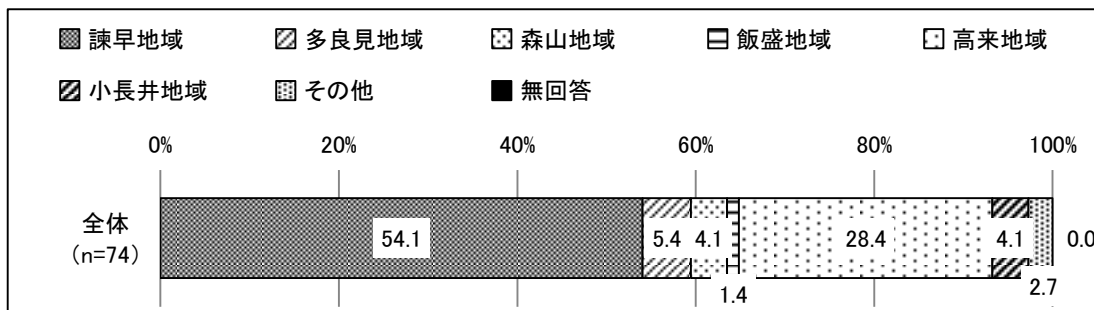
#### (3) 職業

回答者の職業については、「無職」が29.7%で最も多く、次いで「会社員、公務員、団体職員」（23.0%）、「自営業・専門的職業」（18.9%）、「その他」（12.2%）、「家事専業」（9.5%）、「パート・アルバイト」（6.8%）の順となっています。また、「農林漁業」「学生」と回答した人はいませんでした。



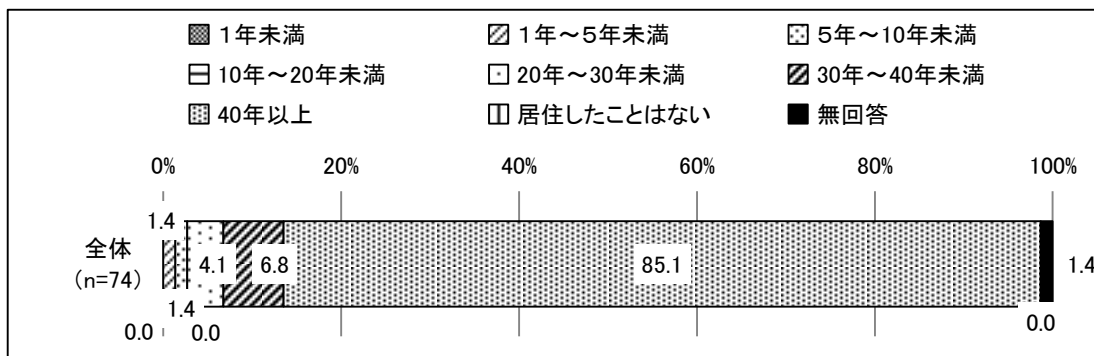
#### (4) 住んでいた地域

回答者が住んでいた地域については、「諫早地域」が54.1%で最も多く、次いで「高来地域」(28.4%)、「多良見地域」(5.4%)、「森山地域」「小長井地域」(同率4.1%)、「その他」(2.7%)、「飯盛地域」(1.4%)の順となっています。



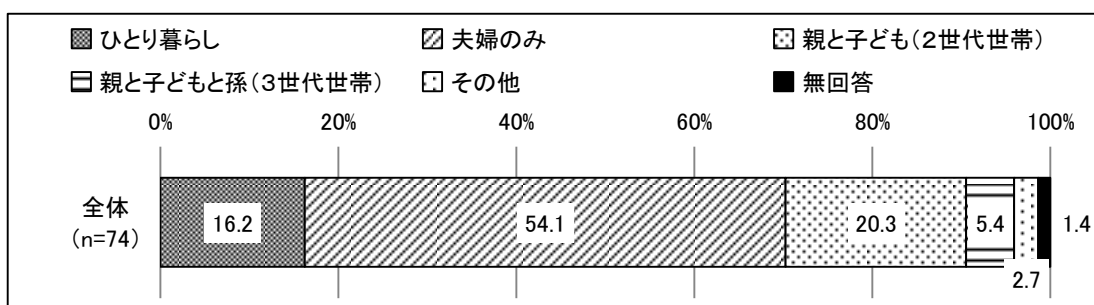
#### (5) 諫早市を離れてからの年数

回答者が諫早市を離れてからの年数については、「40年以上」が85.1%で最も多く、次いで「30年～40年未満」(6.8%)、「20年～30年未満」(4.1%)、「1年～5年未満」「5年～10年未満」(同率1.4%)の順となっています。また、「1年未満」「10年～20年未満」「居住したことはない」と回答した人はいませんでした。



#### (6) 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が54.1%で最も多く、次いで「親と子ども(2世代世帯)」(20.3%)、「親と子どもと孫(3世代世帯)」(5.4%)、「ひとり暮らし」(16.2%)、「その他」(2.7%)の順となっています。



## Ⅱ 調査結果

### 1 諫早市に関する情報や現状などについて

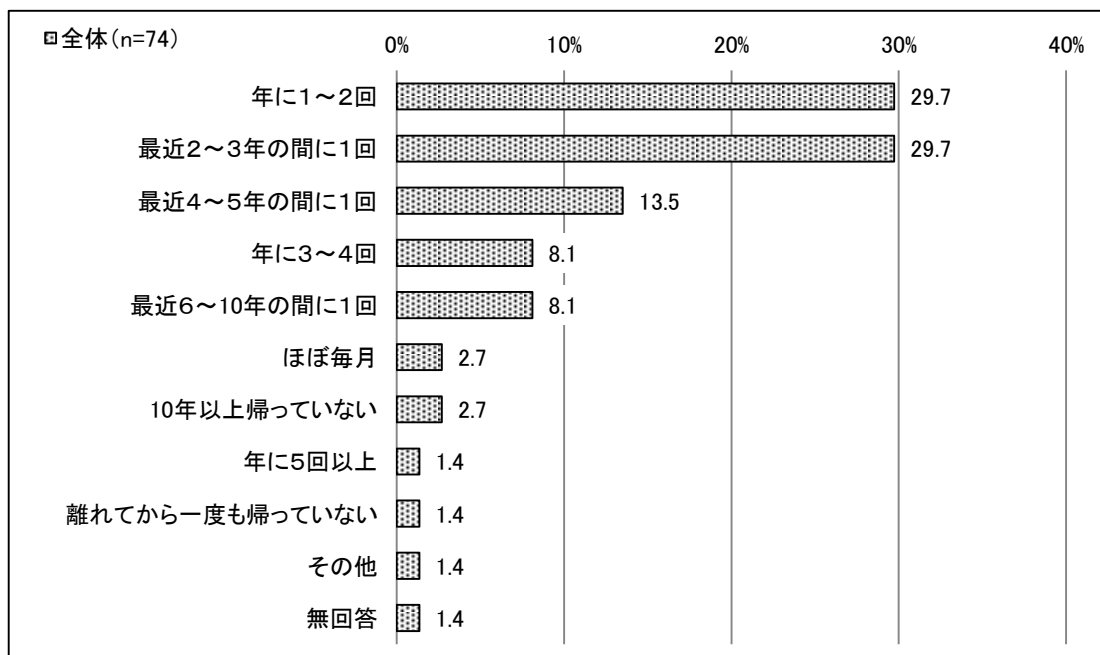
#### (1) 諫早市に帰る頻度

問2 あなたは、どのぐらいの頻度で諫早市にお帰りになっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

● 「年に1～2回」及び「最近2～3年の間に1回」が最も多い。

諫早市に帰る頻度については、「年に1～2回」及び「最近2～3年の間に1回」(同率29.7%)が最も多く、次いで「最近4～5年の間に1回」(13.5%)、「年に3～4回」及び「最近6～10年の間に1回」(同率8.1%)などの順となっています。[図表1参照]

[図表1] 諫早市に帰る頻度 (全体)



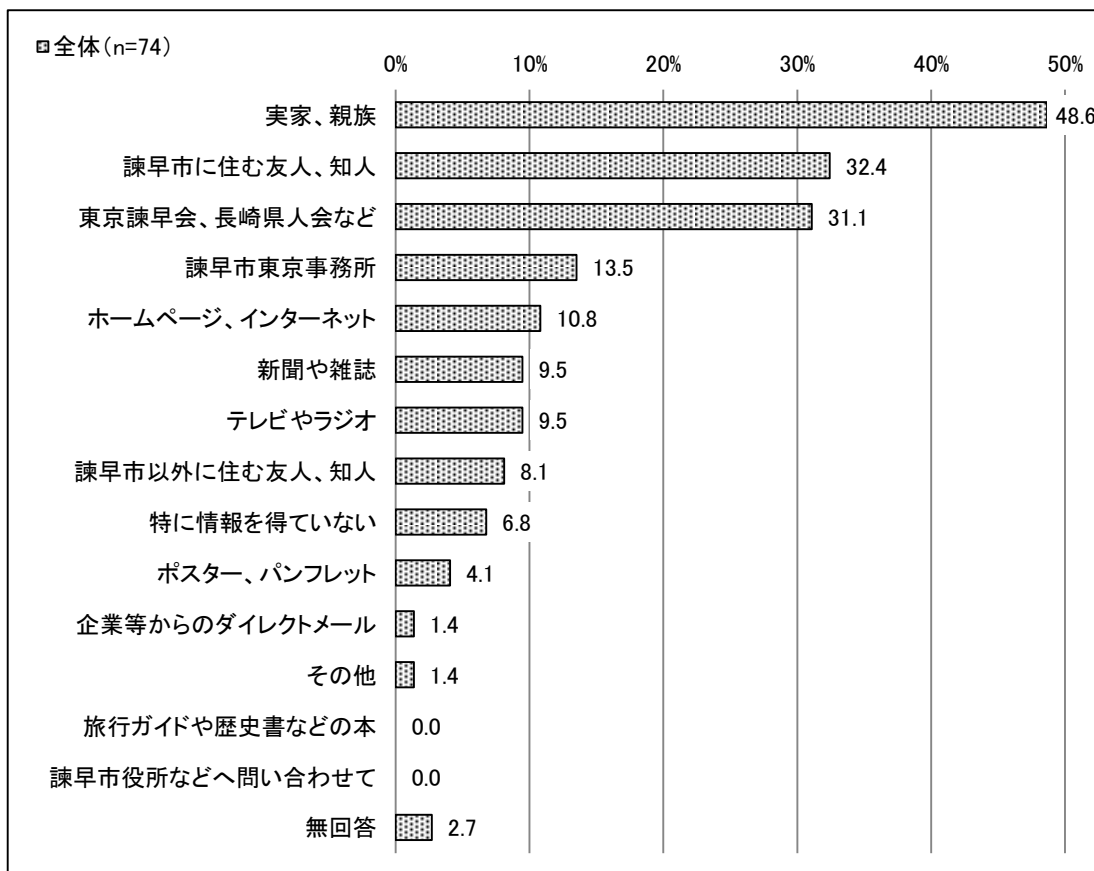
## (2) 諫早市に関する情報の入手方法

問3 あなたは、諫早市に関する情報をどのように入手されていますか。あてはまるものすべてを選んで番号に○をつけてください。【複数回答】

●「実家、親族」が第1位、次いで「諫早市に住む友人、知人」「東京諫早会、長崎県人会など」が続く。

諫早市に関する情報の入手方法については、「実家、親族」(48.6%)が第1位に挙げられ、次いで「諫早市に住む友人、知人」(32.4%)、「東京諫早会、長崎県人会など」(31.1%)が上位を占め、以下、「諫早市東京事務所」(13.5%)、「ホームページ、インターネット」(10.8%)、「新聞や雑誌」及び「テレビやラジオ」(同率9.5%)、「諫早市以外に住む友人、知人」(8.1%)、「特に情報を得ていない」(6.8%)などの順となっています。[図表2参照]

[図表2] 諫早市に関する情報の入手方法 (全体/複数回答)





### (3) 今後ほしい情報

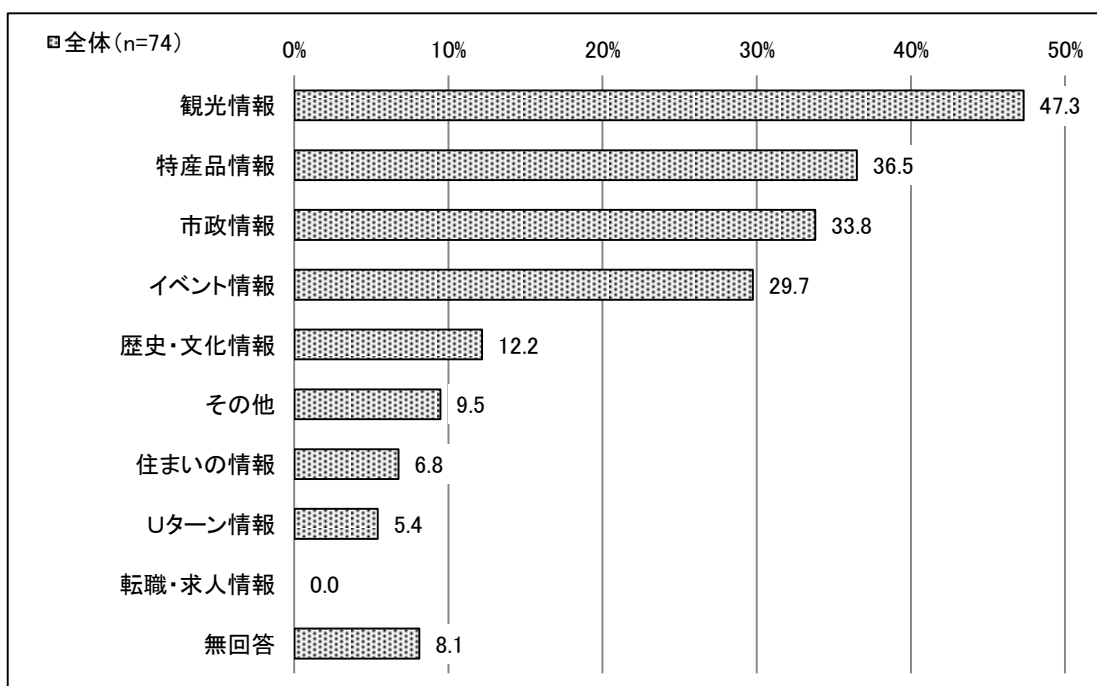
問4 それはどのような内容ですか。また、今後どのような情報を得たいですか。あてはまるものすべてを選んで番号に○をつけてください。【複数回答】



● 「観光情報」が第1位に挙げられ、次いで「特産品情報」「市政情報」が続く。

今後ほしい情報については、「観光情報」(47.3%)が第1位に挙げられ、次いで「特産品情報」(36.5%)、「市政情報」(33.8%)が上位を占め、以下、「イベント情報」(29.7%)、「歴史・文化情報」(12.2%)などの順となっています。[図表3参照]

[図表3] 今後ほしい情報 (全体/複数回答)



#### (4) 「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているか

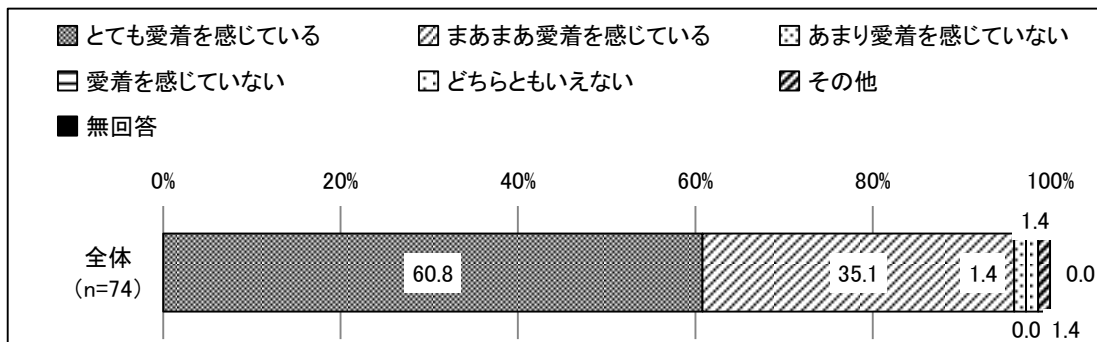
問5 あなたは、諫早市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



● “愛着を感じている”が95.9%、一方、“愛着を感じていない”が1.4%。

諫早市に「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているかについては、「とても愛着を感じている」(60.8%)が最も多く、次いで「まあまあ愛着を感じている」(35.1%)が続き、これらを合わせた“愛着を感じている”が95.9%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”(「あまり愛着を感じていない」(1.4%)と「愛着を感じていない」(0.0%)の合計)は1.4%にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえます。[図表4参照]

[図表4] 「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているか（全体）



(5) 「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるもの

問6 あなたにとって諫早市らしさ、愛着や誇りを感じるもの、県外へもっとアピールした方がよいと思うものは何ですか。1から20のうちからお考えに近いものを5つ以内で選んで番号に○をつけてください【複数回答】

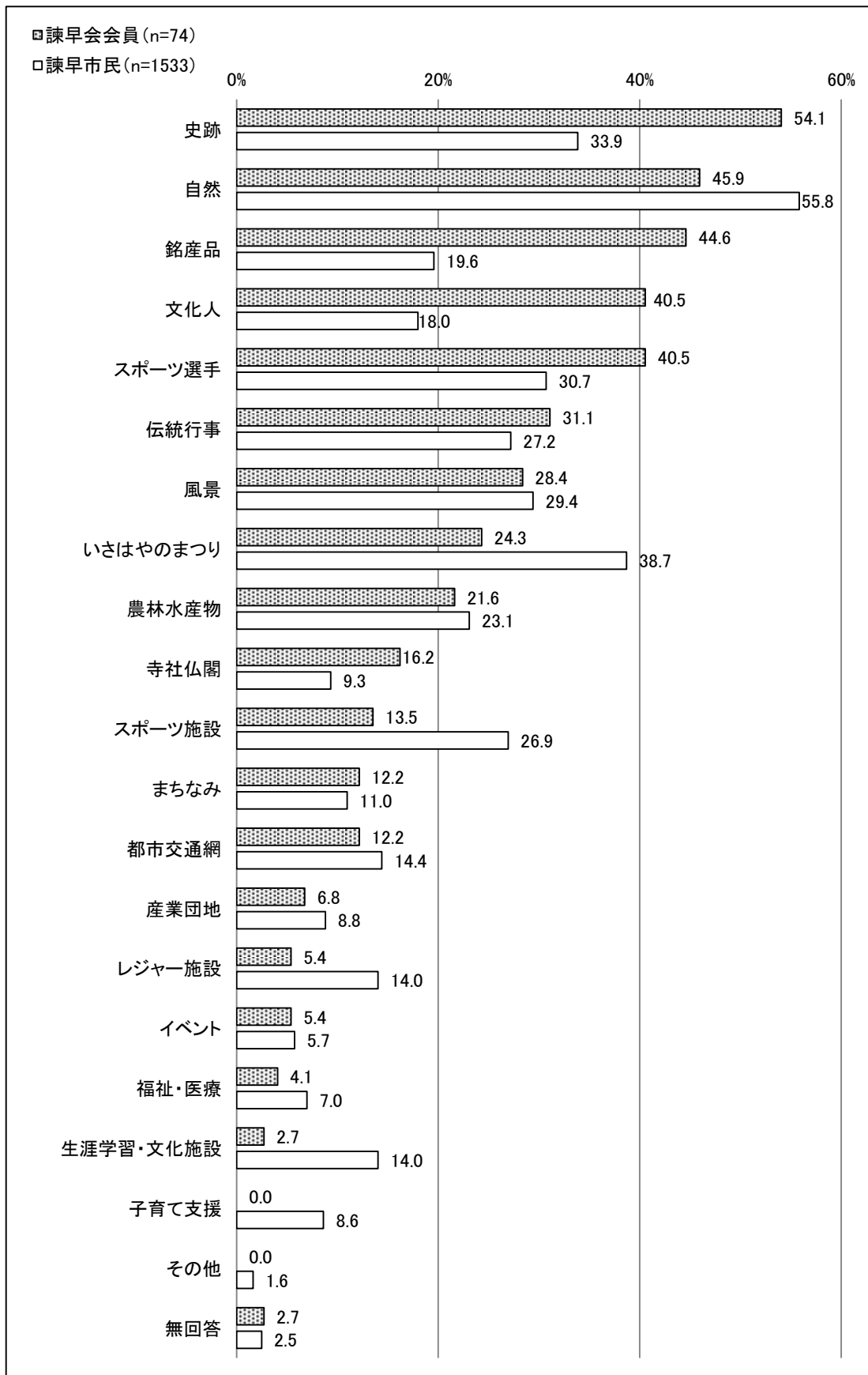


● 「史跡」が第1位に挙げられ、次いで「自然」「銘産品」が続く。

「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるものについては、「史跡」(54.1%)が第1位に挙げられ、次いで「自然」(45.9%)、「銘産品」(44.6%)が上位を占め、以下、「文化人」「スポーツ選手」(同率40.5%)などの順となっています。

諫早市民を対象とした調査における類似設問の分析結果と比較すると、「史跡」「銘産品」「文化人」「スポーツ選手」などの項目で会員は市民の比率を大きく上回っており、一方、「いさはやのまつり」「スポーツ施設」「レジャー施設」「生涯学習・文化施設」などの項目では、市民が会員の比率を大きく上回っています。【図表5参照】

[図表5] 「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持つもの  
(全体、市民との比較/複数回答)



## 2 諫早市に関する将来の方向性について

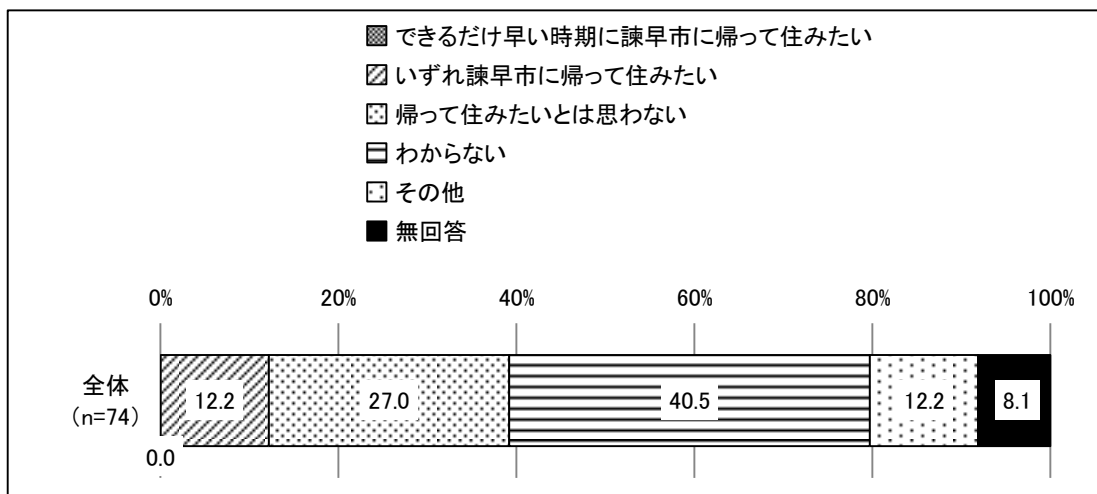
### (1) 将来、諫早市に帰って住みたいと思うか

問7 あなたは、将来、諫早市に帰って住みたいと思われませんか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

●「帰って住みたいとは思わない」が「諫早市に帰って住みたい」を上回る。

将来、諫早市に帰って住みたいと思うかについては、「わからない」が40.5%と約4割を占め最も多くなっています。また、「帰って住みたいとは思わない」が27.0%で、これに対して「いずれ諫早市に帰って住みたい」は12.2%となっており、「帰って住みたいとは思わない」が「いずれ諫早市に帰って住みたい」を14.8ポイント上回っています。[図表6参照]

[図表6] 将来、諫早市に帰って住みたいと思うか (全体)



## (2) 若年者増加のために重要な施策

問8 次にあげる項目について、あなたは、諫早市に若い人の定住者を増やすためには、どのような施策が重要だと思われますか。(1)から(17)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

●重要度の最も高い項目は「(8) 企業誘致等による雇用の確保」。次いで「(1) 子育て環境の充実」「(5) 商店街が活気づくような街並みの整備」の順。

若年者増加のために重要な施策について、重要度を尋ねた17項目について、「大変重要」「やや重要」「あまり重要でない」「重要でない」の4段階で評価してもらいました。

“重要である”(「大変重要」と「やや重要」の合計)の比率が高い項目としては、『(1) 子育て環境の充実』が75.7%で第1位に挙げられ、次いで第2位が『(9) 医療や福祉面の充実』及び『(10) 高齢者介護などの環境整備』(同率72.9%)、第3位が『(16) 公共交通機関の充実』(70.2%)となっています。

諫早市民を対象とした調査における同設問の分析結果と比較すると、会員は全ての項目で“重要である”の比率が市民を下回っている傾向がみられます。

さらに、その結果を加重平均値【後述参照】による数量化で評価点(重要度:最高点9点、最低点0点)を算出しました。

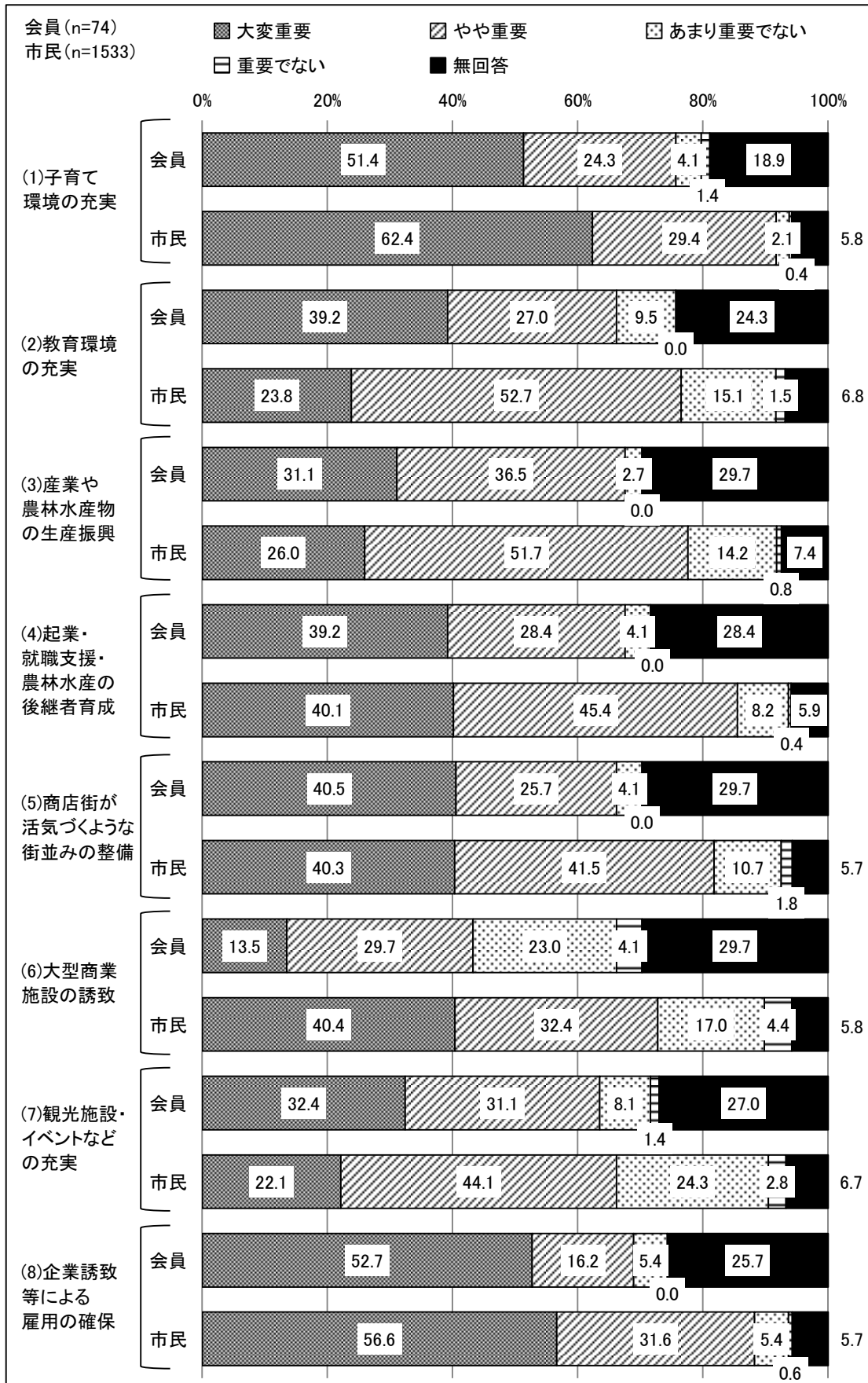
この結果をみると重要度は、『(8) 企業誘致等による雇用の確保』(7.91点)が第1位に挙げられ、次いで第2位が『(1) 子育て環境の充実』(7.65点)、第3位が『(5) 商店街が活気づくような街並みの整備』(7.56点)と続き、以下『(4) 起業・就職支援・農林水産業の後継者育成』(7.47点)、『(16) 公共交通機関の充実』(7.25点)、『(9) 医療や福祉面の充実』(7.24点)などの順となっています。また、諫早市民を対象とした調査における同設問の分析結果と比較すると、『(2) 教育環境の充実』『(7) 観光施設・イベントなどの充実』『(17) 市民活動の充実』などで会員は市民を上回り、一方、『(6) 大型商業施設の誘致』などでは市民が会員を上回っています。【図表7～10参照】

※加重平均値の算出方法

4段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

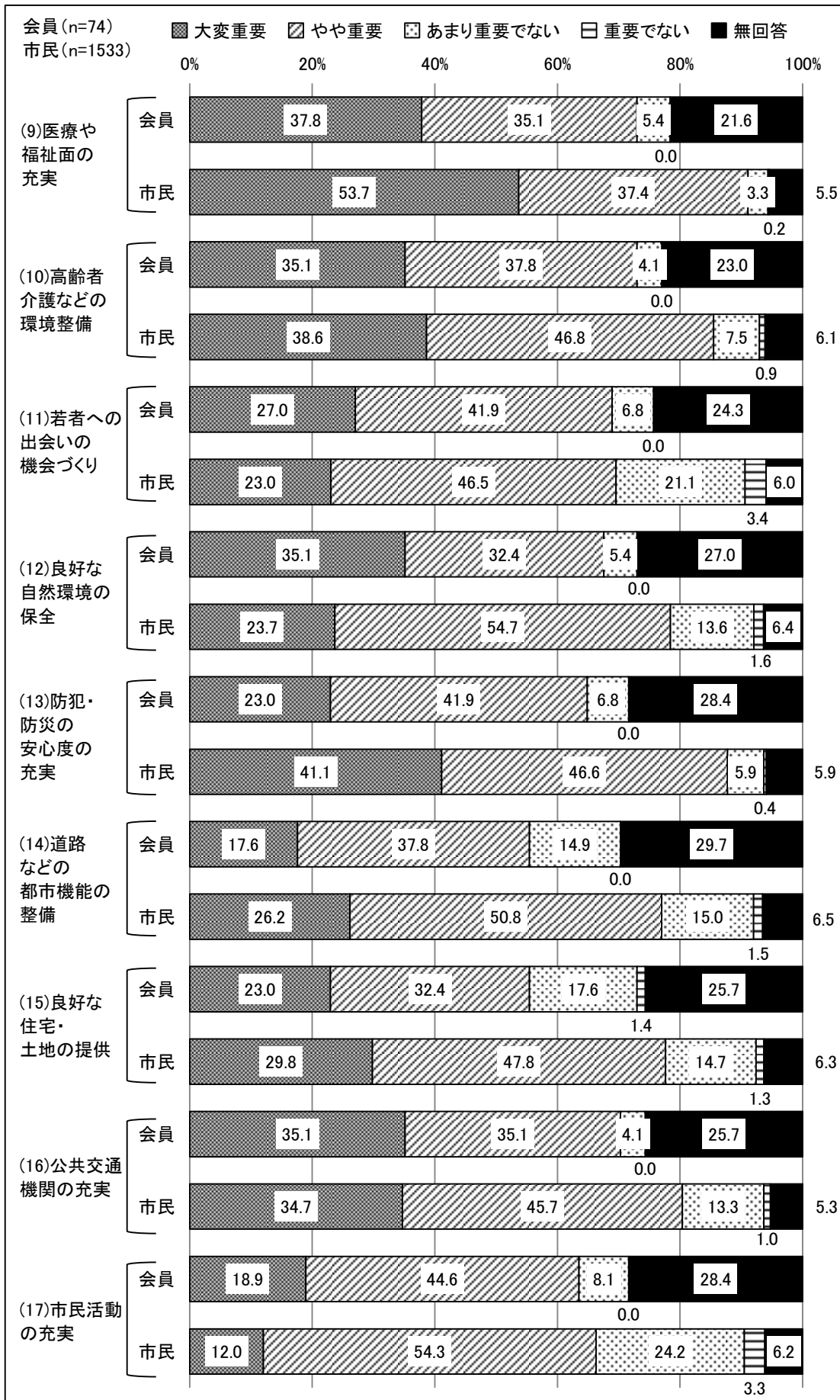
$$\text{評価点} = \left( \begin{array}{l} \text{「大変重要」の回答者数} \times 9 \text{点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 6 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times 0 \text{点} \end{array} \right) \div \left( \begin{array}{l} \text{「大変重要」、「やや重要」、「あ} \\ \text{まり重要でない」、「重要でな} \\ \text{い」の回答者数} \end{array} \right)$$

[図表7]若年者増加のために重要な施策(1)～(8)(全体)

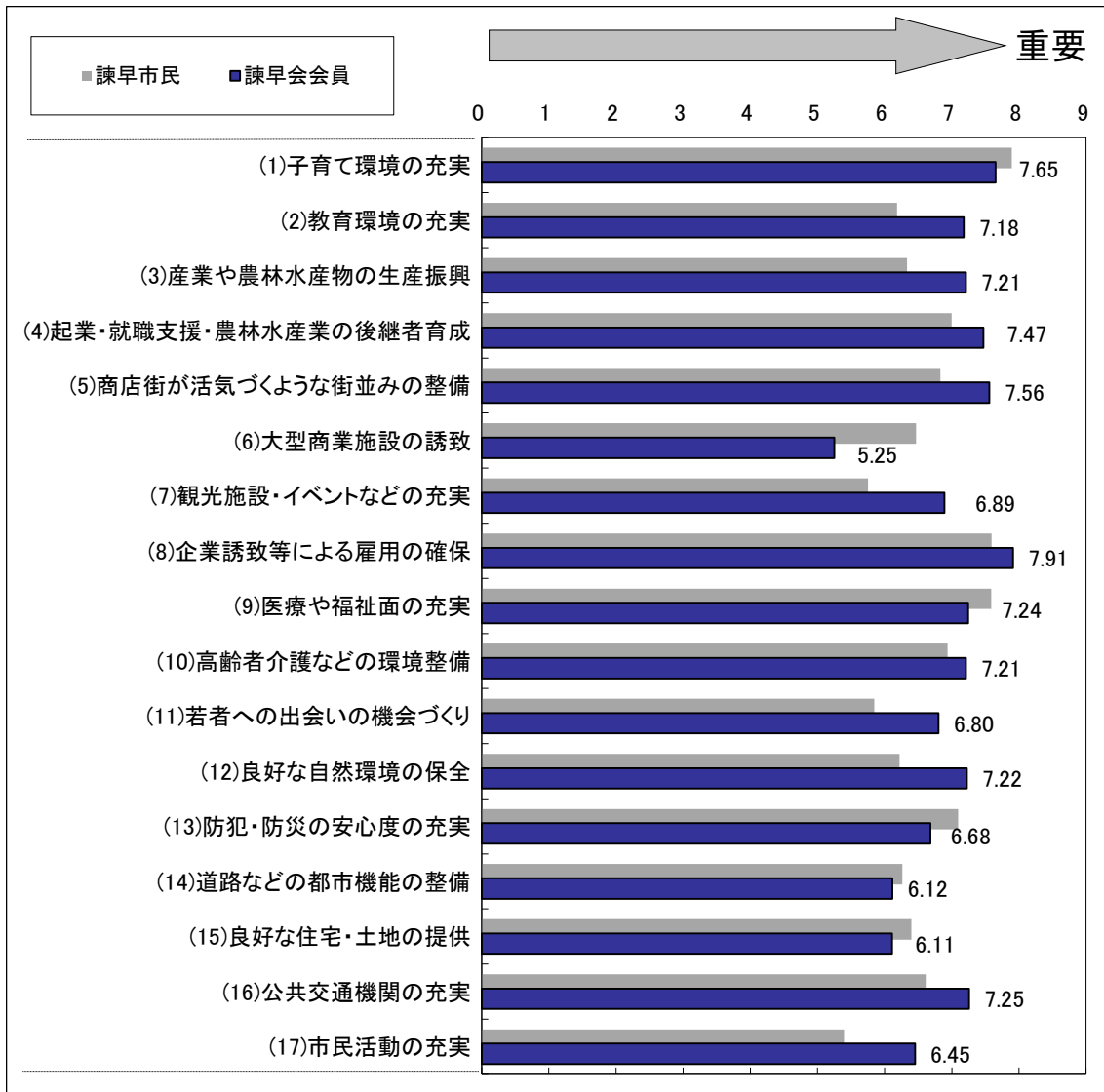




[図表8] 若年者増加のために重要な施策（9）～（17）（全体）



[図表9] 若年者増加のための施策の重要度（全体／評価点）



[図表10] 若年者増加のための施策の重要度（諫早会会員、諫早市民）

（上位3項目、単位：評価点）

	第1位	第2位	第3位
諫早会会員	(8) 企業誘致等による雇用の確保 7.91	(1) 子育て環境の充実 7.65	(5) 商店街が活気づくような街並みの整備 7.56
諫早市民	(1) 子育て環境の充実 7.89	(8) 企業誘致等による雇用の確保／(9) 医療や福祉面の充実 7.59	

### (3) 諫早市の望ましい将来像

問9 あなたは、諫早市を今後どのようなまちにするのがよいと思いますか。お考えに近いものを3つ以内で選んで番号に○をつけてください。【複数回答】

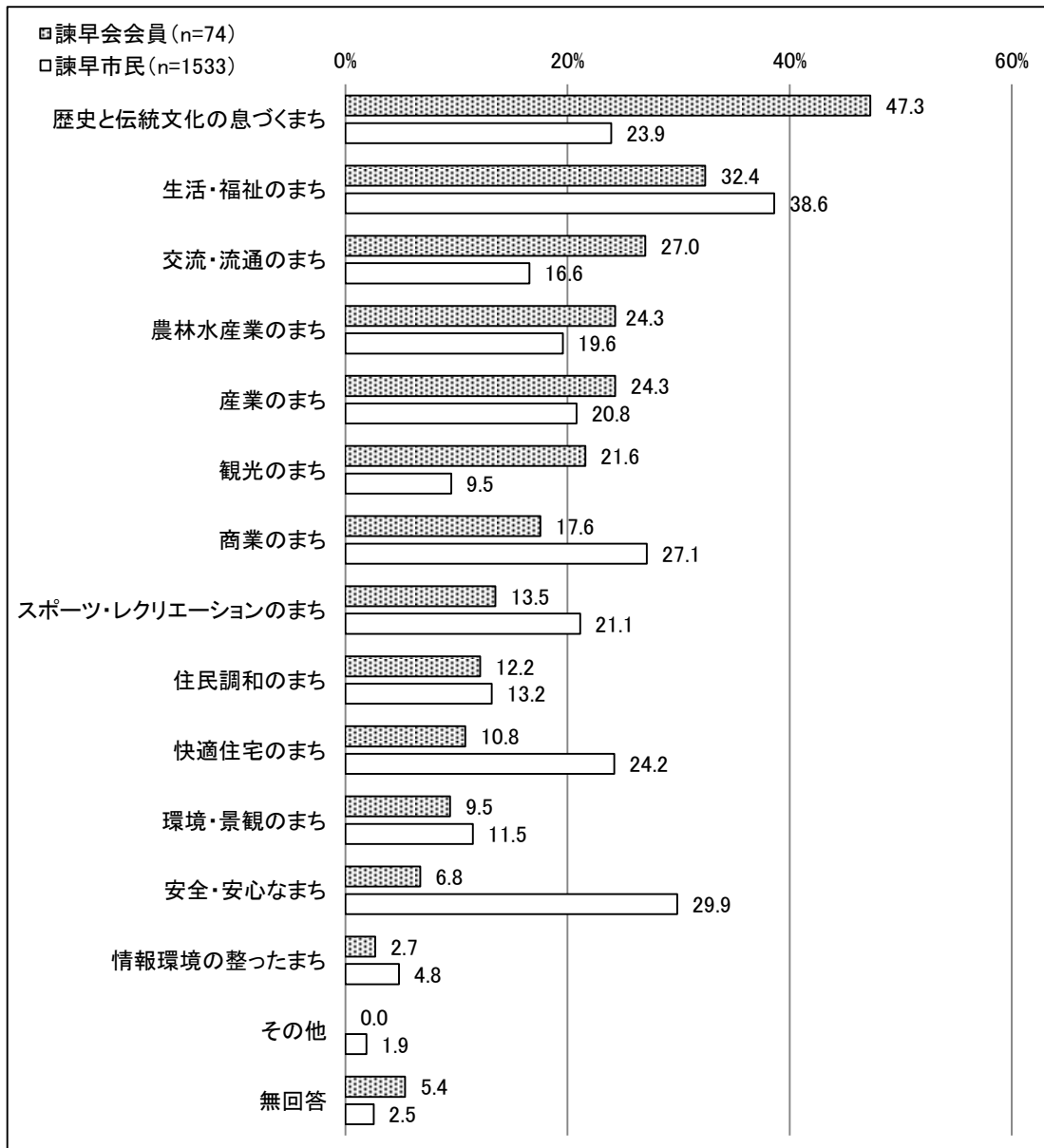


●「歴史と伝統文化の息づくまち」が第1位、次いで「生活・福祉のまち」「交流・流通のまち」と続く。

諫早市の望ましい将来像については、「歴史と伝統文化の息づくまち」(47.3%)が第1に挙げられ、次いで「生活・福祉のまち」(32.4%)、「交流・流通のまち」(27.0%)が上位を占め、以下、「農林水産業のまち」「産業のまち」(同率24.3%)、「観光のまち」(21.6%)などの順となっています。

諫早市民を対象とした調査における同設問の分析結果と比較すると、「歴史と伝統文化の息づくまち」「交流・流通のまち」「観光のまち」などの項目で会員は市民の比率を大きく上回っており、一方、「商業のまち」「快適住宅のまち」「安全・安心なまち」などの項目では諫早市民が会員の比率を大きく上回っています。[図表11参照]

[図表 11] 諫早市の望ましい将来像（全体、市民との比較／複数回答）



#### (4) 九州新幹線西九州（長崎）ルートが完成した後のまちづくりに期待すること

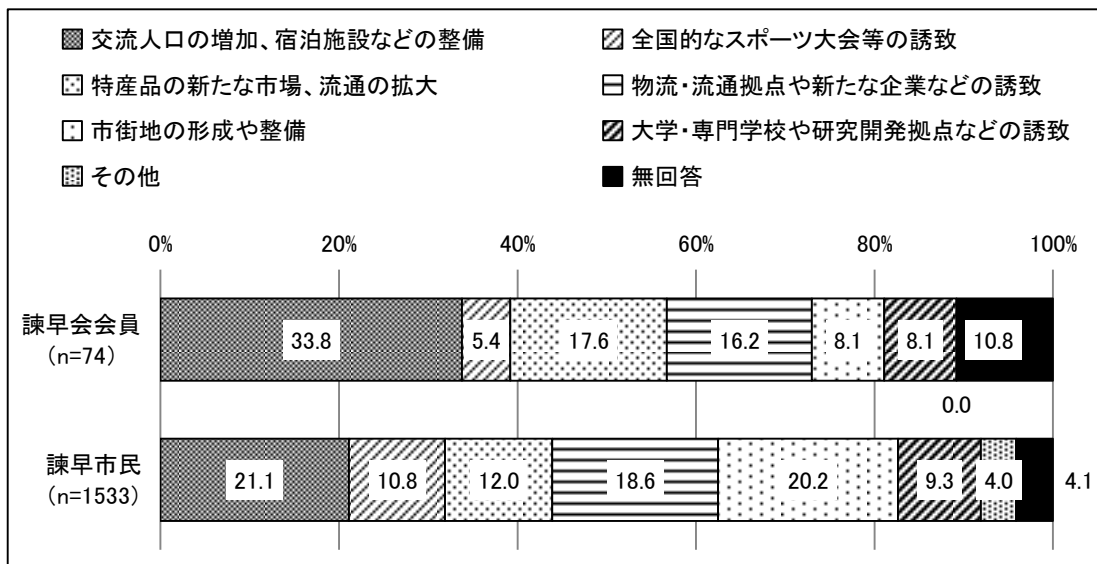
問 10 あなたは、九州新幹線西九州（長崎）ルートが完成した後の諫早市のまちづくりにどのようなことを期待しますか。お考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

●「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」が33.8%で最も多い。

九州新幹線西九州（長崎）ルートが完成した後のまちづくりに期待することについては、「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」が33.8%で最も多く、次いで「特産品の新たな市場、流通の拡大」(17.6%)、「物流・流通拠点や新たな企業などの誘致」(16.2%)、「市街地の形成や整備」「大学・専門学校や研究開発拠点などの誘致」(同率8.1%)、「全国的なスポーツ大会等の誘致」(5.4%)の順となっています。

諫早市民を対象とした調査における同設問の分析結果と比較すると、「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」で会員(33.8%)は市民(21.1%)を12.7ポイント上回っており、一方、「市街地の形成や整備」では市民(20.2%)が会員(8.1%)を12.1ポイント上回っています。[図表12参照]

[図表12]九州新幹線西九州（長崎）ルートが完成した後のまちづくりに期待すること  
(全体、市民との比較)



## (5) 市外からみた課題

問 11 諫早市外からご覧になって、諫早市にはどのような課題があると思われますか。お考えに近いものを10個以内で選んで番号に○をつけてください。【複数回答】



●「農産物のブランド化」「中小企業、地場産業の育成・支援」「商店街の賑わいの創出」「高齢者の社会参加や生きがいづくり」が第1位。

市外からみた課題については、「農産物のブランド化」「中小企業、地場産業の育成・支援」「商店街の賑わいの創出」「高齢者の社会参加や生きがいづくり」（同率31.1%）が第1位に挙げられ、次いで「観光施設、特産品の情報発信」（27.0%）、「公共交通機関の充実」（25.7%）などの順となっています。[図表 13 参照]

[図表 13] 市外からみた課題（全体／複数回答）

